

令和元年度第1回岡崎市水循環推進協議会 会議録

1 会議の日時

令和元年11月8日（金） 午後2時～午後4時

2 会議の場所

岡崎市役所東庁舎2階大会議室

3 内容

(1) 辞令交付式

(2) 議題

ア 岡崎市水環境創造プランの平成30年度進捗状況について

イ 岡崎市水環境創造プランの改定について（水との関わり）

4 出席委員及び欠席委員の氏名（五十音順・敬称略）

(1) 出席委員

天野博、黄木勝敏、大島康司、皆瀬めぐみ、柏原美和子、片岡喜幸、神本崇、
田川至、武田美恵、富永晃宏、眞木宏哉、丸山泰男、山口晴江

(2) 欠席委員

井上隆信、蔵治光一郎、長谷川明子、谷地俊二

5 事務局職員の職氏名

環境部長 小早川稔、環境政策課長 加藤元、同課副課長 蜂須賀功、
同課環境施策係主任主査 森本徳恵、同課環境施策係技師 中根逸男

6 説明のために出席した職員の職氏名

環境保全課長 中根勇、同課環境保全係技師 福原浩之、森林課長 天野昌彦、
同課森林企画係係長 板坂英幸、同課森林企画係主任主査 今泉英敏

7 開会

8 挨拶

(1) 環境部長挨拶

(2) 会長挨拶

9 議事録署名委員の指名

会長が議事録署名人として武田委員を指名した。

10 会議の公開

本日の会議を公開することとした。(傍聴者0名)

11 議事要旨

(1) 岡崎市水環境創造プランの平成30年度進捗状況について

議事について、資料1～3に基づき事務局及び重点施策担当課出席職員が説明し、その後、次の趣旨の意見、質疑応答がなされた。

意見、質疑応答

片岡委員：

資料1 年次報告書「1-3 林地境界の確定」について、どのように推進しているのか。

森林課：

現状は林道を分筆する際等に隣接地の境界確定をしている。今後、施行される森林経営管理法では施業の集約化を行うこととされているので、集約化に合わせて境界も順次確定させていく。

眞木委員：

資料1 年次報告書「1-4 多様な森林づくりの推進」について、今後の課題に間伐の実施を挙げているが、まずは公有地の山林から積極的に実施し、山主の手本となってほしい。

森林課：

現在、森林整備ビジョンの改訂を通じて将来の整備方針も検討している。御意見も踏まえて検討していきたい。

天野委員：

資料1 年次報告書「2-2 浄化槽の適正管理」について、浄化槽台帳更新等による適正な維持管理の把握とあるが、どのように更新しているか。

事務局：

担当部局に確認する。(確認事項は別紙のとおり)

丸山委員：

資料1 年次報告書「2-5 乙川流域における面源負荷量調査」について、取水地の男川浄水場の上流に下水道の雨水吐はあるのか。また、乙川全体では雨水吐はいくつあるのか。

環境保全課：

下水部局に確認する。(確認事項は別紙のとおり)

富永委員：

負荷の原因が都市由来なのか天然由来なのか検討する価値がある。

天野委員：

より下流の矢作川と乙川の合流部でも検査すれば、都市由来の汚れの影響を評価できるのではないかと。

環境保全課：

合流点付近は頭首工の影響で水位が変化するため、調査が困難である。男川浄水場で採水した理由として、大雨の際でも屋内で安全に採水できる点があった。

丸山委員：

資料1 年次報告書「3-2 下水道の整備（雨水）」について、合流式下水道の整備状況をより詳しく説明してほしい。

事務局：

下水部局に確認する。（確認事項は別紙のとおり）

(2) 岡崎市水環境創造プランの改定について（水との関わり）

議事について、資料4～6に基づき事務局が説明し、その後、次の趣旨の意見、質疑応答がなされた。

意見、質疑応答

山口委員：

資料6 岡崎市水環境創造プラン重点施策案（水との関わり） 「5-3 環境フォトコンテストの開催」について、写真だけでなく絵画など芸術の幅を広げて募集し、視覚的に水との関わる啓発をしてはどうか。

事務局：

より広く啓発できるように、あり方を考えていきたい。

武田委員：

資料6 岡崎市水環境創造プラン重点施策案（水との関わり） について、様々な活動を通して市民への啓発活動をしているが、市として目指す活動のゴールは何か。実際に活動をする担い手を育成するのか、自然を大切に思ってもらえればいいのか、まずは目標を定めたほうがいい。また、環境啓発活動の方法には様々な方法があるが、特に自らが体を動かす活動体験は参加者へ与える影響が大きく、より短期的なスパンでも啓発効果が出てくるように思う。例えば学生を授業として山に連れていき活動体験をするなど、より広い機会の提供はできないか。

事務局：

啓発の目指す目標は、施策によって異なる。保育園への出前授業など環境意識の基礎を普及させる活動から、実際の活動者を養成する実践的な講座の開催など参加者のレベルに合わせた啓発を実施している。活動体験についても検討を行っているが、活動場所までの交通手段の手配や日程などをどのように調整するかなど課題も見つかっているので、引き続き検討していきたい。

富永委員：

災害ボランティアなど学生が活躍している活動もある。戦略的に機会創出をしてほしい。

15 その他

事務局から次回の岡崎市水循環推進協議会の日程について、概ねの時期を伝える。

16 閉会